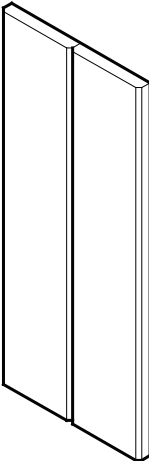




ナチュラル ヴィンテージ 収納扉
Natural Vintage
《扉施工用》

⚠ 施工にあたってのご注意

- | 扉 梱 包 | | | | | | | | | | |
|-------|---|--------|--------|--------|---|------------|--|--------|--------|---------|
| | | <幅30用> | <幅60用> | <幅90用> | <幅120用> | <幅30用> | | <幅60用> | <幅90用> | <幅120用> |
| 扉本体 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 取手
※ビス付 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| |  | | | |  | | | | | |
| | | | | | | クッション | — | 2 | 4 | 6 |
| | | | | | | |  t1×φ10 | | | |

吊車

ガイドローラー

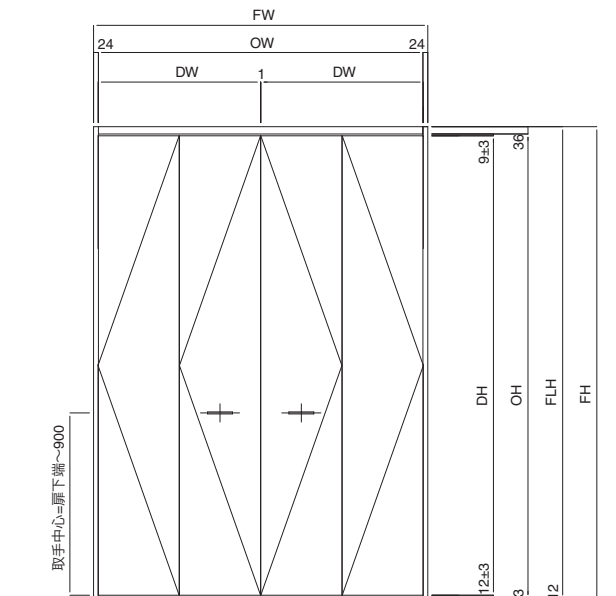
打込パイプ

上キャッチ

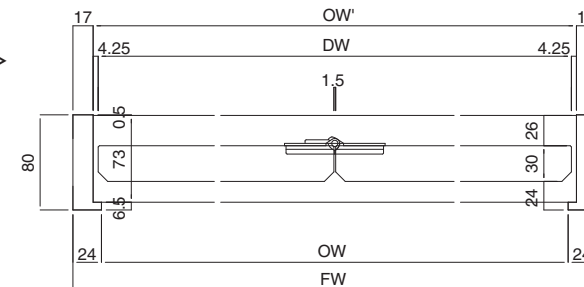
下キャッチ

※この部品は、部品梱包の中に入っています。
扉梱包の中には入っておりません。

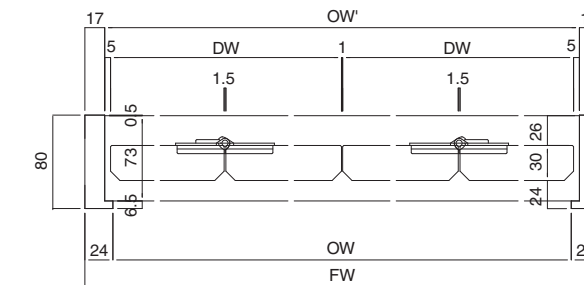
姿図



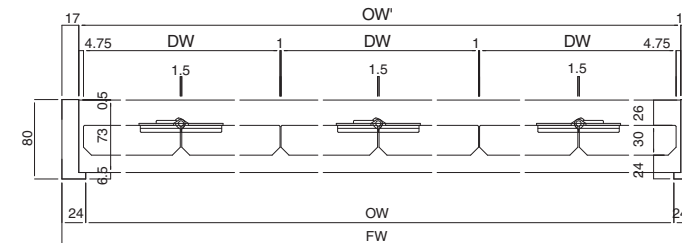
<幅30用>



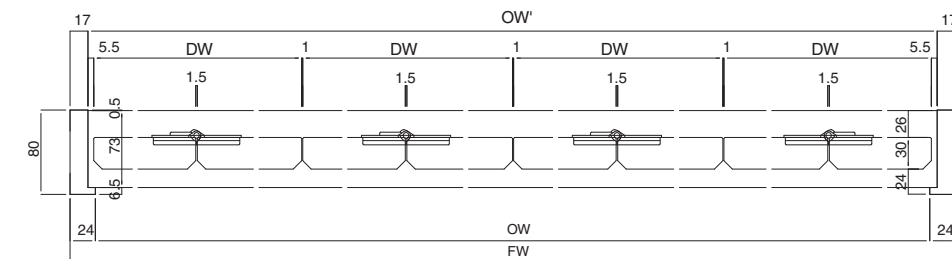
<幅60用>



<幅90用>

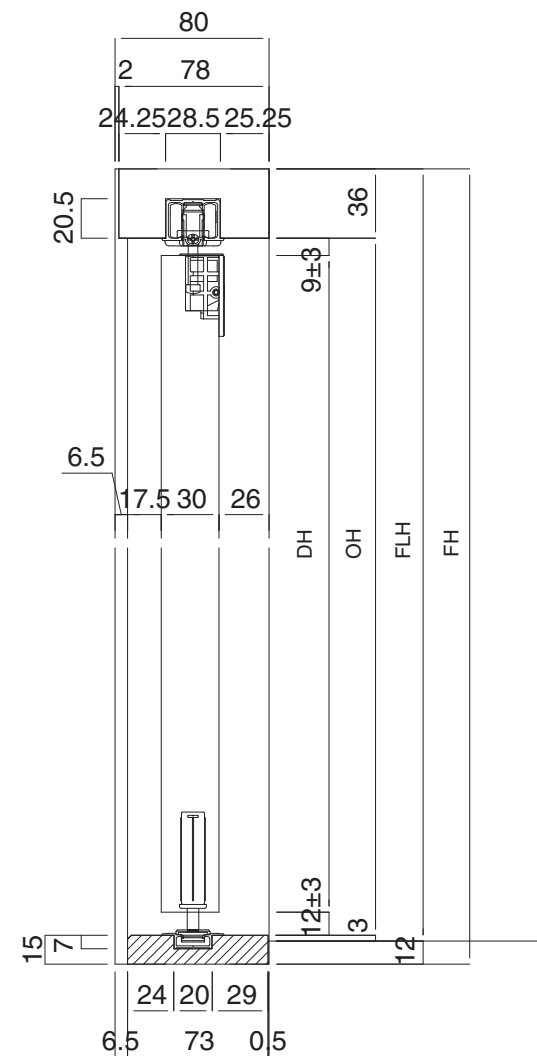


<幅120用>



枠	タイプ	FW (mm)	FH (mm)
四方枠	幅30	755	2047/2340
	幅60	1650	
	幅90	2453	
	幅120	3258	

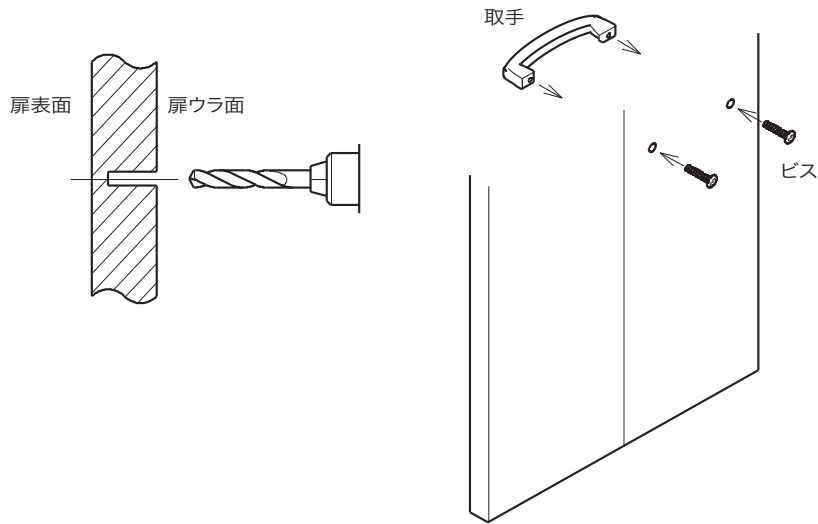
縦断面図



1. 部品の取付け

<取手の取付け>

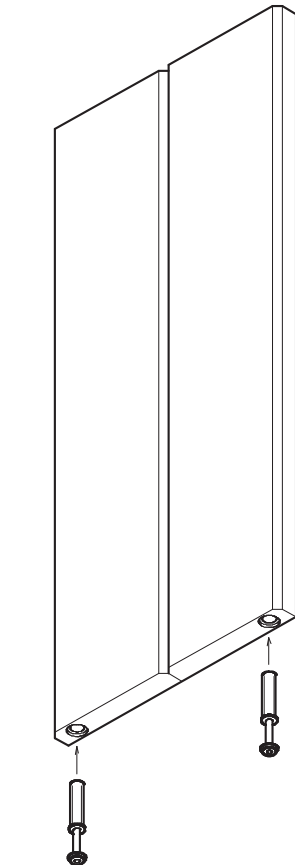
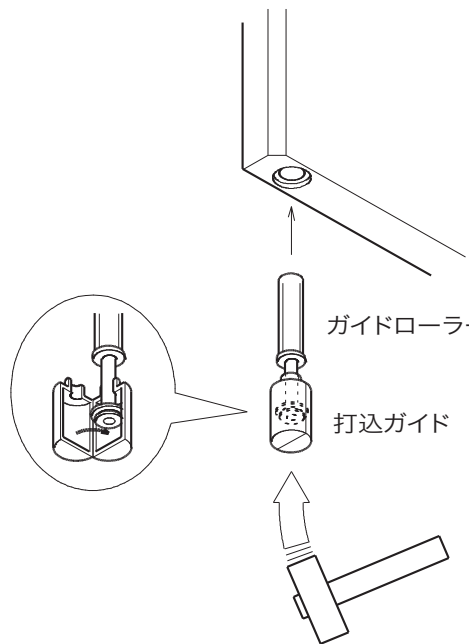
- ①扉の左右勝手を決めて、吊元側の反対の扉に裏面から取手取付け穴をキリ5で貫通させて、取手をビスで取付けてください。



<ガイドローラーの取付け>

- ①打込みパイプを使って、ガイドローラーを扉の下部に打込んでください。

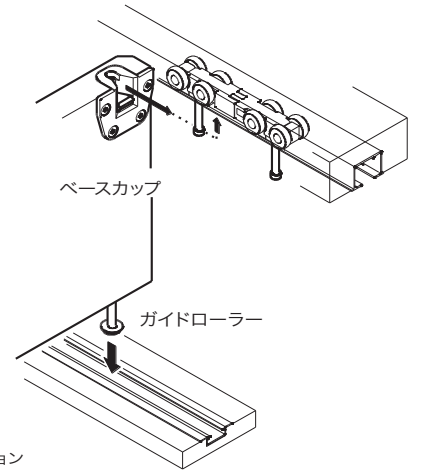
注意 金づち等で直接ガイドローラーを叩くと、破損の原因になります。必ずパイプを当てて打ち込んでください。



2. 扉の吊込み

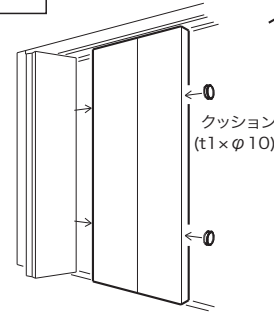
- ①扉下部のガイドローラーを下レールに入れてください。
②扉をたたんで、扉裏面のベースカップの溝に、吊車の軸をはさみ込んでください。
③はさみ込んだ状態から扉を持ち上げると、軸がベースカップに差し込まれ、接合できます。

注意 吊車の軸は、ベースカップに「カチャッ」と音がするまで完全に差し込んでください。誤った取付け方をしますと、扉が外れて、人身事故や家財の破損を引き起こす原因となります。



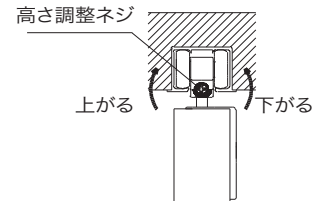
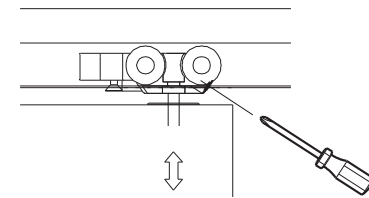
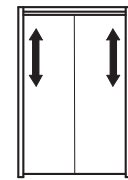
<クッションの貼付け>

- ①扉と扉の間隔を調整するために、扉小口にクッションを貼ってください。



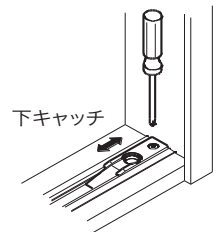
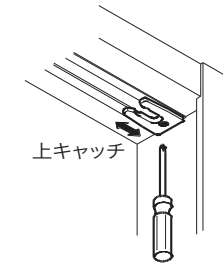
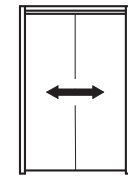
◆上下調整◆

- ①吊車の高さ調整ネジを、ドライバーで回して調整してください。



◆左右調整◆

- ①上下キャッチのビスをゆるめ、左右にずらして調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。